

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	475	担当課等	土木課								
事務事業名	土地開発公社保有用地取得事業										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P147 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	8 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	⑤ 土地開発公社の適切 な運営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5エンター	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	湯河原町土地開発公社の経営健全化の推進								
対象	湯河原町土地開発公社								
内容	湯河原町土地開発公社に対し、保有土地の買戻しを図る。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	86,878,553	15,000,000	13,500,000		
	人件費					
	常勤職員	1,433,000	1,402,600	1,371,200		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	1,433,000	1,402,600	1,371,200		
	総事業費	88,311,553	16,402,600	14,871,200		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債	78,100,000				
	その他特定財源					
	一般財源	10,211,553	16,402,600	14,781,200		
	財源合計	88,311,553	16,402,600	14,871,200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
公共用地購入		債務負担行為額	千円	86,878	15,000	15,000
損失補てん補助金		欠損金	千円	10,170	0	0
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
土地開発公社借入額		補助金額に直接関係	千円	266,000	242,000	217,000
土地開発公社欠損金		〃	千円	0	0	0

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 土地開発公社が町の依頼により公共用地を先行取得している経緯があり、また、現在の公社の収入が駐車場収入のみとなっていることから、借入金の利子補給を必要とする。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 借入金の利子補給により簿価の上昇を抑制している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 土地開発公社の借入金が年々減少している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 土地開発公社の経営健全化が図られることにより、補助金等を交付する負担が減少する。
令和3年度までの自己評価または改善点	平成30年度に土地開発公社経営健全化方針を策定し、これに基づく補助金の交付等を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	土地開発公社の早期解散に向けて保有土地の計画的な買戻しを図る。
令和5年度以降の方向性	年次計画に基づき事業を実施していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	早期解散を目指し、引き続き健全化を図る。
------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	475	担当課等	土木課								
事務事業名	湯河原町土地開発公社補助金										
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P147 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	5 みんなでつくる自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政 運営の推進	8 財政運営	(2) 効果的な財政運 営	⑤ 土地開発公社の適切 な運営				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5エンター	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	湯河原町土地開発公社の経営健全化の推進								
対象	湯河原町土地開発公社								
内容	湯河原町土地開発公社に対し、借入金の利子補給補助金を交付する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	10,975,763	691,999	439,179	
	人件費	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
	総事業費	12,408,763	2,094,599	1,810,379	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	12,408,763	2,094,599	1,810,379	
財源合計	12,408,763	2,094,599	1,810,379		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
公共用地購入	債務負担行為額	千円	86,878	15,000	15,000
損失補てん補助金	欠損金	千円	10,170	0	0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
土地開発公社借入額	補助金額に直接関係	千円	266,000	242,000	217,000
土地開発公社欠損金	〃	千円	0	0	0

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 土地開発公社が町の依頼により公共用地を先行取得している経緯があり、また、現在の公社の収入が駐車場収入のみとなっていることから、借入金の利子補給を必要とする。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 借入金の利子補給により簿価の上昇を抑制している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 土地開発公社の借入金が年々減少している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 土地開発公社の経営健全化が図られることにより、補助金等を交付する負担が減少する。
令和3年度までの自己評価または改善点	平成30年度に土地開発公社経営健全化方針を策定し、これに基づく補助金の交付等を行った。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	3	
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	土地開発公社の借入金が減少し、帳簿上の債務超過が解消されたことから、借入金の利子補給について交付する。	
令和5年度以降の方向性	債務が完済されるまで、継続する。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	早期解散を目指し、引き続き健全化を図る。
------	----------	----------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	479	担当課等	土木課							
事務事業名	駐車場管理事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P146 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	5 みんなで作る自立と 協働のまちづくり	Ⅲ 社会環境の変化 に対応した行政運 営の推進	8 財政運営	(1) 財源の確保・拡充	② 自主財源の確保				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
									○
目的	利用者の利便性の向上など、町有地を有効に活用するため								
対象	町民及び観光客								
内容	湯河原駅臨時第2・3駐車場、万葉公園第1・3駐車場及び温泉場駐車場の運営								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
コスト	事業費	7,342,639	6,508,630	5,971,000		
	常勤職員	1,433,000	1,402,600	1,371,200		
	会計年度任用職員等					
	人件費合計	1,433,000	1,402,600	1,371,200		
	総事業費	8,775,639	7,911,230	7,342,200		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	8,775,639	7,911,230	7,432,200		
	財源合計	8,775,639	7,911,230	7,432,200		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
年間売上金額			千円	12,719	16,170	16,815

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	3	駅周辺及び温泉場地区の利用者の利便性を図るために必要であるが、付近において民間駐車場の設置が進んでいる。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	収入は減少傾向にあるが、管理経費を上回っており、便益施設としての役割は担っている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	駅周辺及び温泉場地区の利用者の利便性を図るため一定の成果を得られているが、付近において民間駐車場の設置が進んでいる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	付近の民間駐車場を圧迫しない料金設定となっている。

令和3年度までの自己評価または改善点	付近に安価な民間駐車場ができたことなどにより、収入が減少しているが、便益施設としての役割は担っている。
--------------------	---

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	1 指定管理者制度を導入することは可能であるが、導入にあたっては、現在町が得ている利益が減少することが考えられる。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	湯河原駅臨時第3駐車場について、一部区画(6台分)を月極利用に変更し、収入増及び安定を図った。 収入(利用者)が減少しているその他の駐車場については、引き続き料金体系等の見直しを検討する。
令和5年度以降の方向性	管理委託先である受託事業者が限られてしまうことから、収支にこだわらず指定管理者制度の導入を検討する必要がある。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	利用者の利便性の向上など、町有地を有効に活用するため、継続して実施する。
------	----------	--------------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	523	担当課等	土木課							
事務事業名	万葉荘分割取得事業									
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	05	事業開始年度	平成 28 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P34 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	1 魅力と活力にあふれ にぎわいのあるまちづくり	I 観光の振興	1 観光	(2) 観光施設の整備・ 充実、個性化	⑥ 万葉荘の活用				
関連する個別計画	観光立町推進計画								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	万葉荘の取得								
対象	町民及び観光客								
内容	神奈川県が提唱している「未病」対策の実施や観光振興におけるロングステイツーリズムを実施するため、神奈川県から万葉荘を取得するもの。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	13,837,260	13,831,050	13,824,840	
	人件費				
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	0	0	0	
	総事業費	13,837,260	13,831,050	13,824,840	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	13,837,260	13,831,050	13,824,840	
	財源合計	13,837,260	13,831,050	13,824,840	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
宿泊者数	地域経済への寄与	人	8,904	9,053	20,000
観光協力金	町財政への寄与	円	0	0	0

用地係(万葉荘分割取得事業)

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町内における宿泊施設の減少は、地域における就業、地域経済、本町財政へ大きな影響があるため。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 平成29年度以降、事業者からの使用料で県への償還金をまかなっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 地域における就業、地域経済及び本町財政並びに未病対策に寄与している。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5 機会均等といえる。

令和3年度までの自己評価または改善点	地域の活性化や就労先の確保等に向けて、民間企業のノウハウや経営力を活用することで安定した運営ができています。
--------------------	--

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 町が施設の運営を行っていないため、指定管理者制度を導入することはできない。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	神奈川県に対し、取得代金を10回(平成28年度から令和7年度までの10年間)に分けて支払う。
令和5年度以降の方向性	年次計画に基づき事業を実施していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------



令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003614	担当課等	土木課							
事務事業名	地籍調査事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	01	目	01	事業開始年度	平成 20 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P109 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 交通ネットワーク の整備	16 道路整備	(1) 道路・交通体系の 整備	⑦ 地籍調査の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	境界紛争の未然防止や公共事業の計画策定、地震などの自然災害時におけるライフライン確保の円滑化を図る。								
対象	町内土地所有者								
内容	国土調査法に基づき町が主体となって行う地籍に関する調査								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	11,389,881	9,040,069	10,775,000	
	常勤職員	5,732,000	5,610,400	5,484,800	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	5,732,000	5,610,400	5,484,800	
	総事業費	17,121,881	14,650,469	16,259,800	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金	7,119,000	5,265,000	6,453,000	
	地方債				
	その他特定財源				
	一般財源	10,002,881	9,385,469	9,806,800	
財源合計	17,121,881	14,650,469	16,259,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
地籍調査委託費	地籍調査委託	千円	10,076	9,041	9,355
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
地籍調査面積		km <sup>2</sup>	0.07	0.07	0.06

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 国土調査法に基づき町が主体となって行うべき地籍に関する調査事業である。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用削減につながっている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 個人が行う土地取引や登記手続きの簡素化・費用削減につながっている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 人口集中地区(DID)や津波浸水想定、土砂災害警戒区域などを考慮し、調査区域を決め事業を推進しており、調査区域内において、受益の機会は均等と思われるが、町全体でとらえた場合、ばらつきがある。
令和3年度までの自己評価または改善点	県が大規模災害の備えとして津波浸水想定図をもとに「緊急重点地域」と定めた相模湾沿岸地区及び土砂災害警戒区域を含む地区において調査を実施した。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 調査について、引き続き委託していく。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	年次計画に基づき事業を実施していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	配置人員等から実施規模は妥当であると考え、引き続き年次計画に基づき事業を実施する。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003667	担当課等	土木課								
事務事業名	道路維持修繕事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P109 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 交通ネットワーク の整備	16 道路整備	(1) 道路・交通体系の 整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	日常生活と密接に関係する町道の破損箇所を修繕することにより、道路利用者の安全を守る。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	簡易的な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	14,575,935	12,224,650	11,800,000	
コスト 人件費	常勤職員	2,149,500	2,056,800		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,149,500	2,056,800		
	総事業費	16,725,435	13,856,800		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	9,700,000	11,800,000		
	一般財源	7,025,435	2,056,800		
	財源合計	16,725,435	13,856,800		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
道路修繕工事	修繕費用	千円	14,575	12,225	11,800
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
修繕箇所数	道路修繕工事	箇所	79	56	63

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 道路法第42条において、道路管理者が「道路の維持修繕を実施し、交通に影響がないように努めなければならない」としている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 安価な経費で修繕を行い、直ちに効果があらわれている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 危険箇所等を修繕することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	道路巡回パトロールを実施し、修繕が必要な箇所の把握に努めている。
--------------------	----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 道路の修繕が必要な箇所については、突発的・緊急性も高く町が状態を常に把握しておく必要がある。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	引き続き道路の修繕が必要な箇所の把握に努め、修繕を実施することにより、交通の安全性を維持する。
令和5年度以降の方向性	道路施設の計画的な維持修繕を行うため、定期的に巡回を行い、修繕の必要な箇所を把握し、実施していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	道路施設の維持管理を計画的に行うことにより、施設の長寿命化を図り、安全の確保を図ること。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003671	担当課等	土木課									
事務事業名	道路等清掃事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	3	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P109 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 交通ネットワーク の整備	16 道路整備	(1) 道路・交通体系の 整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	道路及び側溝に堆積した土砂等により雨水排水が路面にあふれ、通行や隣接地の生活に支障をきたすことのないよう定期的に清掃を行い、道路構造物の機能を維持し、安全性を確保するもの。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	道路及び側溝に堆積した土砂等の清掃を職員及び業者が実施する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	1,899,920	3,999,127	0	
	人件費	2,149,500	2,103,900		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,149,500	2,103,900	0	
	総事業費	4,049,420	6,103,027		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	900,000	4,000,000		
	一般財源	3,149,420	2,103,027		
	財源合計	4,049,420	6,103,027	0	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
清掃事業	清掃費用	千円	1,899	4,000	0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
清掃箇所数	清掃実績	箇所	12	15	0

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 道路管理者として構造物の機能を維持し、安全性を確保する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 定期的に清掃を依頼することで大雨等による被害の軽減及び未然防止につながる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 定期的に清掃をすることで構造物の機能が維持できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 道路利用者及び隣接地の安全性を保つことができる。
令和3年度までの自己評価または改善点	過去の清掃箇所を定期的に巡回し、清掃を行っている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	9	清掃が必要箇所について、引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	引き続き改修予定の道路及び側溝について、土砂等の堆積や清掃頻度を軽減できるような改修方法を検討する。	
令和5年度以降の方向性	引き続き清掃すべき箇所を把握し、定期的な作業は職員・委託作業員で対応する。また、大雨等の突発的な事象については、業者対応としていく。	

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	清掃を適切に実施することで、大雨等による被害の軽減及び未然防止につながることから継続とする。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003675	担当課等									
事務事業名	道路占用掘削跡舗装復旧事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P109 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 交通ネットワーク の整備	16 道路整備	(1) 道路・交通体系の 整備					
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	道路占用に伴う掘削跡の本復旧について、舗装の機能を良好な状態に保つため、町が実施する。								
対象	占有者及び道路利用者								
内容	道路占用掘削跡舗装復旧工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	6,450,613	5,750,842	6,000,000	
	人件費	2,866,000	2,805,200	2,742,400	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,866,000	2,805,200	2,742,400	
	総事業費	9,316,613	8,556,042	8,742,400	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	5,500,000	6,000,000	6,000,000	
	一般財源	3,816,613	2,556,042	2,742,400	
	財源合計	9,316,613	8,556,042	8,742,400	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
舗装復旧箇所数	復旧箇所数	箇所	21	44	29
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
舗装復旧面積	復旧面積	m <sup>2</sup>	301	382	370

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	湯河原町道路占用等規則第12条の規定により、道路占用に伴う掘削跡の本復旧は町で行うとしている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	当事業の財源は、占用者が負担した路面復旧費を充当している。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	占用者が実施した占用工事箇所の状態を確認し、本復旧工事を実施。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	事業の対象箇所である道路占用の本復旧箇所の舗装の機能や品質が保持できる。

令和3年度までの自己評価または改善点	仮復旧状況を確認しながら、本復旧を行う。
--------------------	----------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	3 道路は町の重要な社会インフラ施設であり、占用復旧工事といえども委託は適当ではない。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	占用者による本復旧としているケースが多く、本町においても近隣市町の実績、実態を確認しながら、占用者による本復旧とすることを含め、今後の対応について検討していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(見直し)	近隣市町の動向や町民・事業者(占用者)の意向などを勘案し、占用者による本復旧とすることを含め、今後の事業継続について検討すること。
------	---------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(見直し)	
------	---------	--



令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003694	担当課等	土木課							
事務事業名	急傾斜地崩壊対策事業									
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成 15 年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P100 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	10 防災・危機管理	(1) 防災対策の推進	⑧ 土砂災害・洪水対策の強 化及び改良事業の推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	神奈川県が実施する急傾斜地崩壊対策事業費の一部を負担するもの。								
対象	町民及び土地所有者								
内容	急傾斜地崩壊対策工事(法面工など)								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	7,965,760	10,000,000	8,500,000	
コスト 人件費	常勤職員	716,500	701,300	685,600	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	716,500	701,300	685,600	
総事業費	8,682,260	10,701,300	9,185,600		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	7,100,000	7,200,000	4,500,000	
	その他特定財源				
	一般財源	1,582,260	3,501,300	4,685,600	
財源合計	8,682,260	10,701,300	9,185,600		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
対策箇所数	急傾斜地崩壊対策	地区	1	1	2
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
対策工面積	急傾斜地崩壊対策	m <sup>2</sup>	1,157	1,023	432

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 急傾斜地崩壊対策工事は、本来地権者が行うものであるが、多額の費用を必要とするため、地権者の負担が大きく現実的には不可能である。一定の要件を満たす場合は、県が工事実施することができ、その費用の一部について町で負担する。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5 急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、災害による町民の危険を排除することができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 急傾斜地崩壊対策工事を行うことにより、町民の災害に対する安全性が向上する。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	2 事業実施箇所が、急傾斜地崩壊危険箇所指定された区域に限られる。

令和3年度までの自己評価または改善点	特になし
--------------------	------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 県と事業について調整を行い、引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	現在町内では、1箇所(宮上道中)について危険箇所指定し、区域の拡大を行いながら事業を進めているが、今後は追加で2箇所(温泉場・福浦)の危険箇所の指定について県及び地元と調整を行う。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	町民の安全を守るため県と連携し、事業を継続していくこと。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003698	担当課等	土木課								
事務事業名	道路改修事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P109 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 交通ネットワーク の整備	16 道路整備	(1) 道路・交通体系の 整備	⑥ 道路ストックの維持管理の 推進				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	道路維持修繕事業で対応できない、大規模な舗装改修などを必要とする箇所について工事を実施し、町民や道路利用者の利便性と安全性を向上する。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	大規模な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	29,167,600	7,240,530	6,256,000	
	人件費	2,866,000	2,805,200	2,742,400	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,866,000	2,805,200	2,742,400	
	総事業費	32,033,600	10,045,730	8,998,400	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	4,000,000	6,256,000	6,256,000	
	一般財源	28,033,600	3,789,730	2,742,400	
	財源合計	32,033,600	10,045,730	8,998,400	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
工事箇所数	道路工事	箇所	12	4	4

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 道路法第42条において、道路管理者が「道路の維持修繕を実施し、交通に影響がないように努めなければならない」としている。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 改修工事を実施することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 改修工事を実施することにより、道路利用者等の利便性・安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。

令和3年度までの自己評価または改善点	道路の状態により危険性の高いものから順次改修を行った。
--------------------	-----------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既の実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 改修が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	改修が必要な箇所を再調査し、計画的な改修を行う。
令和5年度以降の方向性	道路の良好な状態を保つため、定期的に点検を行い、改修計画を立案し、改修工事を行っていく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	引き続き事業を実施し、安全の確保を図ること。
------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003709	担当課等	土木課								
事務事業名	道路新設改良事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	02	目	02	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P109 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	IV 交通ネットワー クの整備	16 道路整備	(1) 道路・交通体系の 整備	(2)(6) 道路の新設・改良 道路ストックの維持管理の 推進				
関連する個別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯河原町橋りょう長寿命化修繕計画</li> <li>・湯河原町トンネル長寿命化修繕計画</li> <li>・湯河原町耐震改修促進計画</li> <li>・湯河原町舗装維持管理計画</li> </ul>								
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路施設(橋梁・トンネルほか)の長寿命化や耐震化を図る。								
対象	町民及び道路利用者								
内容	道路新設改良事業、橋梁・トンネルほか補修及び耐震事業								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	56,197,281	47,818,172	79,216,019	
	人件費	2,866,000	2,805,200	2,742,400	
	常勤職員				
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	2,866,000	2,805,200	2,742,400	
	総事業費	59,063,281	50,623,372	81,958,419	
財源内訳	国庫支出金	24,983,000	16,300,000	44,092,000	
	県支出金	0			
	地方債	4,400,000	6,500,000	31,500,000	
	その他特定財源	2,031,000	218,000	0	
	一般財源	27,649,281	27,605,372	6,366,419	
	財源合計	59,063,281	50,623,372	81,958,419	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
工事箇所数	道路改良事業	箇所	4	6	4
委託箇所数		箇所	5	3	4

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	道路施設は、公共性が高く、交通網の充実や安全性確保のため町が実施するもの。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	道路整備により、道路利用者の利便性・安全性が向上し、効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	国補助金(社会資本整備総合交付金)減により、事業を縮小しなければならない場合がある。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	町内全域が対象であるため、受益の機会は均等である。
令和3年度までの自己評価または改善点	各計画に基づき、順次改修を行った。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 改修必要箇所について、引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	点検・調査に基づき、計画を策定・修正を行いながら改修を実施する。
令和5年度以降の方向性	交通網の充実を図るため、計画的に道路の新設や改良を行っていく。また、道路施設(橋梁・トンネルほか)の長寿命化を各計画に基づき実施する。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	安全の確保の観点からも、計画的に道路ストックの新設や改良を引き続き行っていくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003748	担当課等	土木課								
事務事業名	河川維持修繕事業										
予算科目コード	会計	01	款	07	項	03	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P101 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	Ⅲ 安全・安心の実現	11 治山・治水	(2) 治水事業の推進	② 河川・水路の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○			○				
目的	日常生活と密接に関係する水路等の老朽箇所を修繕することにより、町民や土地所有者の水害に対する安全を守る。								
対象	町民及び土地所有者								
内容	簡易的な維持修繕工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)	
コスト	事業費	4,997,300	4,493,500	3,000,000	
	人件費	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,433,000	1,402,600	1,371,200	
	総事業費	6,430,300	5,896,100	4,371,200	
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	2,000,000	2,000,000	365,000	
	一般財源	4,430,300	3,896,100	4,006,200	
	財源合計	6,430,300	5,896,100	4,371,200	
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
修繕箇所数	水路修繕工事	箇所	25	19	20

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 水路等は、町の施設であり、維持管理を怠ると水害により町民生活を脅かす危険性がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 安価な経費で修繕を行い、直ちに効果があらわれている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 危険箇所等を修繕することにより、水害に対する安全性の向上が図られる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 修繕箇所は、町内全域を対象としているが、老朽化している施設が中心となるため、多少偏る傾向がある。
令和3年度までの自己評価または改善点	水路の状況調査、巡回パトロールを行い、水路等修繕必要箇所の把握に努めている。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 水路等の修繕が必要な箇所について、引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和5年度以降の方向性	水路等施設の計画的な維持修繕を行うため、定期的に点検を行い、修繕が必要な箇所を把握し、実施していく。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	水路等は、町施設であり、水害防止に努めるとともに、施設の長寿命化及び安全性の向上を図る観点から現状維持で継続していくこと。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--



令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	003752	担当課等	土木課									
事務事業名	水路等清掃事業											
予算科目コード	会計	01	款	07	項	03	目	01	事業開始年度	平成	3	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P101 ゆがわら2021プラン 前期基本計画	3 四季彩と暮らしが 調和した安全・安 心のまちづくり	III 安全・安心の実現	11 治山・治水	(2) 治水事業の推進	② 河川・水路の整備				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○			○				
目的	堆積した土砂等による水路機能の低下で排水があふれ出たり、水流が滞ることによる異臭が発生など、隣接地の生活に支障をきたすことのないよう定期的に清掃を行い、水路構造物の機能を維持し、安全性を確保するもの。								
対象	水路沿線の町民								
内容	水路に堆積した土砂等の清掃を業者に委託し、実施する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	799,500	457,400	0	
コスト 人件費	常勤職員	1,433,000	1,402,600		
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	1,433,000	1,402,600		
	総事業費	2,232,500	1,860,000		
財源 内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他特定財源	300,000	500,000		
	一般財源	1,932,500	1,360,000		
	財源合計	2,232,500	1,860,000		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
清掃箇所数	清掃実績	件	6	3	0

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	水路管理者として構造物の機能を維持する必要がある。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	定期的に清掃を行うことで異臭の発生、大雨等による被害の軽減及び未然防止につながる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4	定期的に清掃を行うことで構造物の機能が維持できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	水路沿線の町民の安全性を保つことができる。
令和3年度までの自己評価または改善点	町内を巡回し、清掃すべき箇所把握と清掃時期・頻度を確認し、適正な実施に努めている。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 水路清掃必要箇所について、引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	引き続き改修予定の水路について、土砂等の堆積や清掃頻度を軽減する改修内容を検討する。
令和5年度以降の方向性	河川管理維持費へと予算を組み替えました。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	清掃事業を適切に実施することで、大雨等による被害の軽減及び未然防止につながることから引き続き継続して行っていくこと。
------	----------	--

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和4年度事務事業評価シート

令和5年3月 日作成

事業番号	006627	担当課等	土木課								
事務事業名	公共土木施設災害復旧事業										
予算科目コード	会計	01	款	10	項	02	目	01	事業開始年度	平成	年度

1 事業概要(令和3年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2021プラン 前期基本計画									
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
		○							
目的	災害で被害を受けた公共土木施設を復旧する。								
対象	公共土木施設(道路・水路等)								
内容	災害により道路等の公共土木施設の機能に支障が出た場合に業者に復旧工事を発注する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分	令和2年度(決算)	令和3年度(決算)	令和4年度(見込)		
	事業費	90,926,000	39,978,689	16,103,900	
コスト 人件費	常勤職員	7,165,000	5,259,750	5,259,780	
	会計年度任用職員等				
	人件費合計	7,165,000	5,259,750	5,259,780	
総事業費	98,091,000	45,238,439	21,363,680		
財源内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債	65,000,000	37,800,000	20,000,000	
	その他特定財源	25,751,000	23,860,000		
	一般財源	7,340,000	△4,135,407	1,363,680	
財源合計	98,091,000	45,238,439	21,363,680		
活動指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
災害復旧工事		件	3	6	1
災害復旧委託		件	2	25	0
成果指標	指標設定の理由・考え方	単位	令和2年度	令和3年度	目標値
災害復旧費		千円	90,926	45,239	16,104

3 令和3年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	災害で被害を受けた公共土木施設を復旧するために必要。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	災害で被害を受けた公共土木施設の機能を復旧することにより、構造物の機能が回復し、安全性を確保できる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	災害で被害を受けた公共土木施設の機能を復旧することにより、構造物の機能が回復し、安全性を確保できる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	5	町内全ての公共土木施設が対象であり、それらを利用する人々の安全・安心を確保することができる。
令和3年度までの自己評価または改善点	特になし		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9 災害で被害を受けた施設について、構造物の機能を回復し、安全性を確保するため引き続き実施していく。
令和4年度の見直し及び改善 (実績または予定)	町内6箇所災害復旧工事を実施した。
令和5年度以降の方向性	災害により公共土木施設に被害が出た場合には、業者に依頼し、速やかに復旧する。

5 一次評価(令和5年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	災害復旧事業を適切に実施することで、災害による被害の軽減に繋がることから、災害発生時には、速やかに復旧事業を実施すること。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--